

ワ ラ ビ

西暦紀元前1122年というから今から約3000年前、周の武王は殷の諸侯の1人であったのにかかわらず、殷の紂王が非常な暴君であったため、これを攻め亡ぼしてしまった。その時、武王の忠臣伯夷叔斉の2名が、仮にも主たる殷の紂王を臣たる武王が攻めることは宜しくないといって諫めたが、ついに武王はこれを聞き入れなかった。そこで、伯夷叔斉は、終生周粟を食まずといて、首陽山に入ってワラビを食って過ごし、武王の招聘に応じなかったという。伯夷叔斉がワラビの芽を食ったものか、根を食ったものかわからないが、我々は好んでワラビの芽(若い葉柄が主たる部分)を茹でて食ひ、根からは澱粉をとって餅などを作る。特に凶作の年には、ワラビの根を掘って飢えをしのいだ例は東北・北海道には決して少なくない。こうして考えて見ると、我々人間にはワラビというものは有毒なものとは夢にも思えない。

ところが、牛がワラビを食べると汎骨髄癆という病気にかかり、骨髄中の造身機能がなくなって死んでしまうし、馬ではビタミンB₁の破壊を起こして病気になるという。特に牛においては、昭和36年以後の43年までに入牧頭数約3000頭のうち643頭がこの汎骨髄癆にかかり、その半数以上即ち366頭が死亡または廃用になってしまっているという恐るべき状態である。

今や政府の畜産振興政策に伴って、草地造成面積は全国で22万ヘクタールを越すに至っている。しかるに、草地造成後数年にしてワラビの繁茂著しい牧野が少なくないと聞いている。いずれこれらの細かいいきさつについては、号

目 次

水稻の機械移植栽培における 除草剤の使用法 広島県立農業試験場栽培第1部長 原 田 哲 夫	2
昭和45年度新供試除草剤・ 生育調節剤一覧表 第1表 昭和45年度対象別 供試薬剤一覧表	8
第2表 昭和45年度新供試 薬剤成分一覧表	8
(財)日本植物調節剤研究協会 新登録除草剤一覧 農林省農政局植物防疫課	18
登録生育調節剤一覧 農林省農政局植物防疫課	21
新除草・調節剤 ゼロワン粒剤	22
ゼロワンP粒剤	22
HOK-7502粒剤	22
HOK-7505粒剤	23
植調協会だより	23

を改めて報告する機会を持つ予定であるが、何とか草地造成時、あるいは造成後このワラビの繁殖を抑えて、安心して家畜を放牧できるようにし得る、ワラビ除草剤の開発を望んでやまない次第である。

(財)日本植物調節剤研究協会会長 河田 党